

廻国・円空

— 加茂をとおりて —



十二万体的造像を祈願し、全国を遊行(注)しながら多くの仏像を制作したといわれる円空。ここ美濃加茂を中心とした加茂地域にも、全国を遊行する途中に立ち寄り、多くの仏像を残していきました。

今月は、2月4日からみのかも文化の森で「廻国・円空—加茂をとおりて—」展を開催するのに伴い、この地域と円空のかかわりなどについて振り返ります。

上図
立木に向かいなたを振るう円空
『近世畸人伝』より
(美濃加茂市民ミュージアム蔵)

(注)
遊行 (ゆぎょう)
僧が修行のため、諸国を巡り歩くこと。